

<霊的備え>

私たちのたましいは主を待ち望む。主は私たちの助け 私たちの盾。
まことに 私たちの心は主を喜び 私たちは聖なる御名に抛り頼む。

(詩篇 33:20-21)

<理解の手引き>

ここにはセムの歴史が記されています。このセムの家系からアブラム（アブラハム）が生まれてきます。バベルの塔を造ろうとした人間に対して、神のさばきが行われ、人類は世界全地に散らされていきます。しかし、神はそのさばきとともに、救いの道を備えてくださったのです。

神はアブラム（アブラハム）をセムの子孫の中から選び出し、故郷から導き出して、約束の地に連れて行こうとされました。アブラム（アブラハム）はウルの地で生まれましたが、そこは偶像礼拝が盛んで、月神が礼拝されていたことが、考古学の発見によって明らかとなっています。

おそらく、神がアブラム（アブラハム）を召し、新しい地に導かれたのは、その子孫が神の御心にかなう信仰の民を形成し、彼らを通して全人類を救いに与らせようとする神の計画の故でした。

<考えてみよう>

(観察) アブラム（アブラハム）の人となりを書いてください。(誕生の地、父、兄弟、妻、おいの名など)

.....
.....
.....

(解釈) 何故、神はアブラム（アブラハム）を約束の地に導こうとされたのでしょうか？

.....
.....
.....

(適用) 私たちが今住んでいる環境は、あなたの信仰にどのような影響を与えていますか？

.....
.....
.....

<心に残ったみことばや気づき>

.....
.....
.....

<今日の祈り> (教えられたことを短い祈りで表す)

.....
.....
.....